

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツ実践・基礎 I (Sports Practice Fundamentals I)・サッカー	授業コード	A001302
担当教員名	橋本 堅次郎		
配当学年	1	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	指定クラブ学生のみ受講可。		
受講心得	出席は毎回取ります。		
教科書			
参考文献及び指定図書	特になし。		
関連科目	健康の科学、生涯スポーツ指導、スポーツ実践・基礎 I、スポーツ実践・基礎 II、スポーツ実践・応用 I、スポーツ実践・応用 II		

授業の目的	前期を通して、各種目における体力づくりの基礎知識やスポーツトレーニングの原理原則を理解し、実践することを目的とします。
授業の概要	

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<p>◆体力 基礎体力の養成(心肺持久力、スピード、筋力、パワー、調整力等)</p> <p>守備</p> <p>◆On the ballの相手に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールとゴールを結んだライン上にポジションをとるのが基本 ・プレッシャーをかける(相手の自由を奪う) ・ボールを注視しながら相手の状況を観察する。 <p>(相手のフェイントにかからない・ボールを奪うチャンスを逃さない)</p> <p>間合い 構え ステップワーク</p> <p>◆Off the ballの相手に対して</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しいポジショニング(マークの原理) <ul style="list-style-type: none"> ・相手のゴールを結んだライン上を意識 ・相手とボールを同一視できる体の向きを確保 ・チャレンジ可能かつ裏を取られない距離 2. アプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・ボールの移動中にできるだけ寄せる ・ファーストタッチの時には、相手のあらゆる動きに対応できる体勢をとる 3. チャレンジの優先順位 <ul style="list-style-type: none"> ・インターセプト(相手のボールを奪うDFの目的を達成させる最高の方法) ・コントロールした瞬間やその直後を狙う(目的を達成させる次善の方法) ・前を向かせない(ボールは奪いえないが、相手の前方へのプレーや有効な視野を封じる) ・ディレイ&ジョッキー 相手の攻撃スピードをダウンさせる → 相手の次のプレーを自由にさせない方法 	
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式
	(3) アクティブ・ラーニング 「アクティブ・ラーニング科目」
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	

【知識・理解】
【技能・表現・コミュニケーション】
【思考・判断・創造】

サッカートレーニングの原理原則の理解と実践

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	